

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月6日(日)③

担当部局・担当課名: 地方創生局観光振興室

事業名	とやま観光塾開催事業	評価結果	一部改善
-----	------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

<p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル戦略の中でインバウンドを重視するのであれば、講師や塾のカリキュラムの内容も変えていった方がよいのではないか。 ・修了生で有償ガイドになった方々の収入や、今後も有償ガイドを続けていく意欲を持っているかなどを指標とすることも大事。 ・観光ガイドが稼げるようになるためのシステムづくりが重要 <p>【県民評価者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード、ソフト両面からのアプローチが必要ではないか。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 21

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (一定の成果を達成、 事業の廃止)	役割分担 見直し (広域または市町村単 位での実施)	抜本的改善 (一度リセットし、次の ステップへの移行を検 討)	一部改善 (コースの変更)	現行どおり ・拡充
		1	0	7	8
県民評価者の 主なコメント	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の見直しが必要ではないか。 ・とやま観光塾の取組みはよいので、県民へのアピールを行うべき。 ・新幹線が延伸するなか、人材の活用は重要。時代のニーズに応じてコースの改善をお願いしたい。 ・観光プロフェッショナルの育成だけではなく県民の「何もないちゃ」をなくすために働きかける施策は必要。 				
	<p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年実施されてきて、県の事業としてこれ以上続けていく必要があるのか。 ・観光地等の技術向上のために講座を実施することは有益であると思うが、講座修了生が継続的に活動できているのかや、生活暮らしていけるのかなどの評価が必要だと思う。 <p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流やイベントを通じて、地元の魅力を認識することが観光客への対応力につながると思う。 <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活性化の面からも、県として事業を続けてほしい。ボランティアではなく、事業を育てるという意識がとてもよい。 ・グローバルな視点で事業を見直し、事業費を拡充すべき。 				

【参考】委員による評価

委員総数 4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	3	1	0

事業名	とやま観光塾開催事業	評価結果	一部改善
------------	------------	-------------	------

【県の対応】

今後の 対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○R⑤実施の塾生のアンケート結果をもとに、講師やカリキュラム内容を一部見直し ○修了生への活動状況等調査により、有償ガイドの収入状況や今後活動を続ける意欲などデータを収集、効果的な事業の実施を検討 ○県の広報媒体等を活用し、本塾の取組や成果を県民へ広く周知				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	23,100(千円)	R5当初予算	23,100(千円)	増減額 なし
	増減理由	-			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	23,100(千円)	前年度予算額	23,100(千円)	
		事業の目的	本県が上質で満足度の高い「選ばれ続ける観光地」となることを目的に、①おもてなし力の向上、②お客様に満足いただける観光ガイドの育成、③魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成、④地域資源を活かしてインバウンドツーリズムを企画できる人材の育成に取り組む。			
		事業内容	観光人材を育成するための観光塾として下記コースを実施(予定) ・高付加価値対応基礎コース ・観光ガイドコース・ガイドング技術専攻 ・観光ガイドコース・インバウンド専攻 ・観光魅力アップコース ・グローバルコース(観光魅力アップコースと統合)			
		積算内訳	①コース実施経費22,114円、②その他事務費986千円			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、カリキュラムの見直しや修了生への活動状況等調査など、適切に実施方法の見直しが行われている。			
	最終的 な 予算 案	予算額	23,100(千円)	/		
		要求時点からの変更点	変更なし			